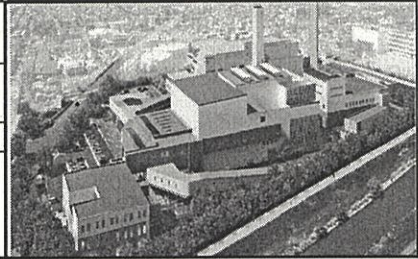


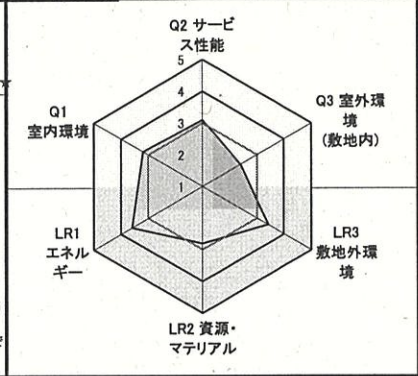
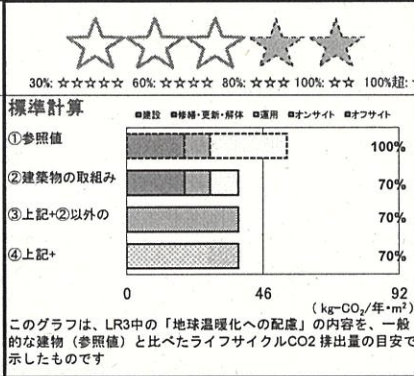
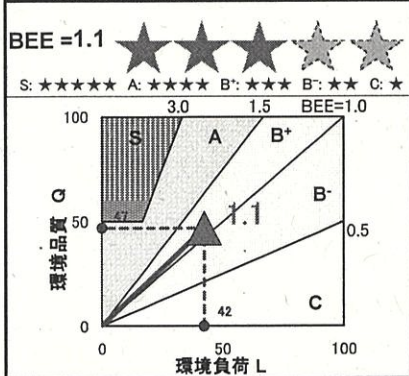
CASBEE[®] - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

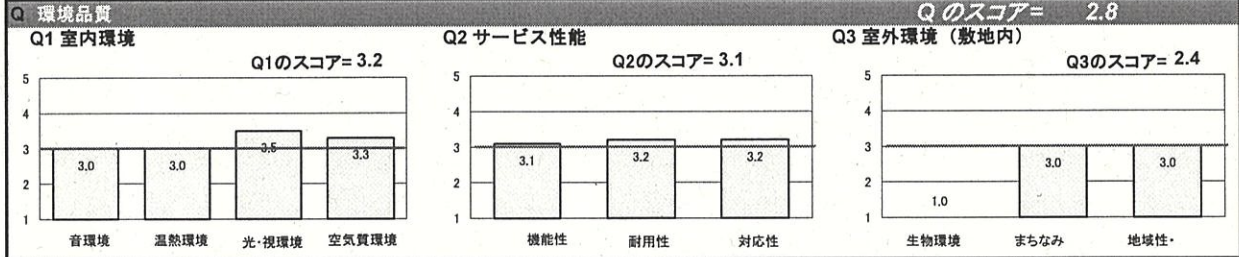
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	川口戸塚環境センター整備工事のうち	階数	地上2F
建設地	川口市	構造	S造
用途地域	防火指定なし、法22条区域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2024年8月20日
敷地面積	47,443 m ²	作成者	稲村
建築面積	2,349 m ²	確認日	2024年8月30日
延床面積	3,440 m ²	確認者	塩崎



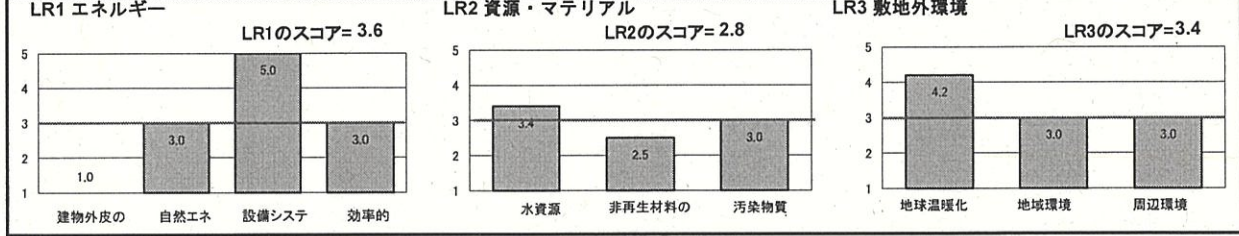
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3



3 設計上の配慮事項

総合	その他
Q1 室内環境 ・居室の換気量は30m ³ /h・人で計画(建築物衛生法の1.5倍)	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル ・節水器具の採用
Q2 サービス性能 ・光ケーブル、PHS網など多様化し市庁舎からの防災情報も入手可能 ・電気設備の浸水対策及び非常用発電設備、無停電電源設備対応	LR3 敷地外環境 ・燃焼器具不採用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
川口戸塚環境センター整備工事のうち新組大ごみ処理施設

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q 建築物の環境品質									2.8
Q1 室内環境			0.30						3.2
1 音環境		3.0	0.15						3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0					
1.2 遮音		3.0	0.40						
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0					
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0					
2 温熱環境		3.0	0.35						3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50						
1 室温		3.0	0.38	3.0					
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38						
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0					
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0					
3 光・視環境		3.5	0.25						3.5
3.1 昼光利用		3.0	0.30						
1 昼光率		3.0	0.60	3.0					
2 方位別開口			-	3.0					
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0					
3.2 グレア対策		3.0	0.30						
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0					
3.3 照度		3.0	0.15	3.0					
3.4 照明制御	リモコン等で細かな照明制御ができる	5.0	0.25	3.0					
4 空気質環境		3.3	0.25						3.3
4.1 発生源対策		3.0	0.50						
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0					
4.2 換気		3.3	0.30						
1 換気量	居室の換気量は30m ³ /h・人で計画(建築物衛生法の1.5倍)	4.0	0.33	3.0					
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0					
4.3 運用管理		4.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50						
2 喫煙の制御	建物内は禁煙、喫煙場所は屋外	5.0	0.50						
Q2 サービス性能			0.30						3.1
1 機能性		3.1	0.40						3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.6	0.40						
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0					
2 高度情報通信設備対応	光ケーブル、PHS網など多様化し市庁舎からの防災情報も入手可能	5.0	0.33	3.0					
3 バリアフリー計画		3.0	0.33						
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30						
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0					
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33						
3 内装計画		3.0	0.33						
1.3 維持管理		3.0	0.30						
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50						
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30						3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		4.0	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20						
3 電気設備	浸水対策及び非常用発電設備、無停電電源設備対応	4.0	0.20						
4 機械・配管支持方法	耐震Sクラス	5.0	0.20						
5 通信・情報設備	通信手段の多様化と災害情報の入手や無停電電源対応	5.0	0.20						

3 対応性・更新性			3.2	0.30	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高4110mm	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		1.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラック、ヒット内配線、将来空調管等拡張性と更新性に配慮	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.20	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.37	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60	-	-	2.5
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が70%	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼器具不採用	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	川口戸塚環境センター整備工事	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	----------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア	=	6.2	
4.2	2.0			
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.2
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.2
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

: 入力欄